

## 水彩画教室「白樺の街」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北極圏の街では 冷涼な気候なので 平地でも白樺が多く見られます 街の街路樹も庭の木も白樺が多く 柵の材料にも薪材にも 白樺がよく使われます 日本の白樺よりも成長がずっと遅いので 年輪が密で工芸品の材料にもなります 樹皮もきれいなものが多く 街が非常に美しく見えます



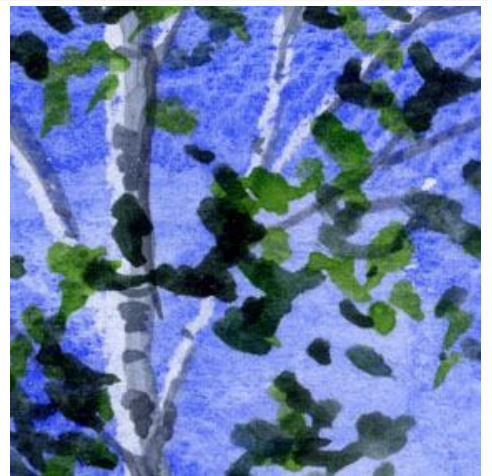
これが完成した絵です



1、家の屋根の下や窓枠には 白いペンキの縁取りがあります これはどんな色の家にも描いておいたほうが良い



2、遠くの小さな家は 恐らく納屋でしょう この家にも 白い縁取りを忘れずに入れておきます



3、主題の白樺は 特に樹皮を丁寧に描きます 葉は3種類の緑を重ねています



4、濃い青の壁の手に前に白樺を置くと 効果的です 樹皮の白さが引き立ちます



5、遠くの白樺は 少し彩度を落として描きます しかし樹皮の様子は忘れずに



6、手前に花を入れておくと 季節感が出ます 人物も描けばよかったです